

2025 年度専門学校長野ビジネス外語カレッジ 学校関係者評価報告書

評価対象期間 自：2024 年 4 月 1 日
至：2025 年 3 月 31 日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ

学校関係者評価委員会

学校関係者評価の概要と実施状況

専門学校長野ビジネス外語カレッジ学校関係者評価委員会は「2023 年度自己点検・自己評価結果」を基に学校関係者評価を行った。その結果を以下のとおり報告する。

1. 学校関係者評価の目的と基本方針

1) 目的

専門学校 長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価の目的を以下のように定める。

①自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②本校と密接に関係する団体、企業の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2) 基本方針

専門学校長野ビジネス外語カレッジにおける学校関係者評価は、『専修学校における学校評価ガイドライン』に則って行うことを基本方針とする。

3) 委員会運営

2025 年度における学校関係者評価委員会は、以下のように年 1 回開催する。

前半部、学内委員による 2024 年度（前年度）教育活動報告・運用実績に対する学校自己点検自己評価の結果総括、2025 年度事業計画のご説明

後半部、外部委員による評価報告、審議

2. 学校関係者評価委員名簿

学校関係者評価委員として以下、企業、関係業界に委嘱した。

氏 名	所 属	
水野 泰雄	有限会社デザインルーム エム	企業・業界団体関係者 評価委員長
三木 一隆	AREC 浅間リサーチエクステンションセンター	企業・業界団体関係者
森越 淳	行政書士森腰淳法務事務所	企業・業界団体関係者
山崎 博昭	上田商工会議所	企業・業界団体関係者

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

2025 年度学校関係者評価委員会		
日時：2025 年 7 月 25 日（金）13：30～15：30		
場所：上田市交流文化芸術センター（サントミュージゼ）第一会議室		
会議次第		
時間	項目	担当者
13：30	開会挨拶	荻野理事長
13：40	委員紹介	小林校長
13：45	委員長挨拶	水野委員長
13：50	2024 年度教育活動成果報告 2024 年度キャリアセンター活動報告	高木（裕）委員 高木（良）委員
14:15	2024 年度事業総括及び 2025 年度事業計画 2024 年度学校自己点検自己評価総括	佐藤委員
14:50	審議・意見交換会、委員長総括	各委員、水野委員長
15：30	閉会	

4. 基準項目ごとの学校関係者評価

1 教育理念・目的・育成人材像等

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・理念・目的・育成人材像は明示されており、学校 HP 等でも分かり易く説明されている。また、理念などの実現に向けた取り組みは評価に値する。 ・ホームページや入学案内書等は、教育理念や目的・姿勢・体制などが理解できるものである。 ・地元企業との連携は特徴的なので今後も推進していくべきと考える。 ・将来構想の具現化は、まず現場の「見える化」を進めることからだと思う。 ・教育機関にとって、教員数の確保と質の向上は最も重要な課題である。数と質の確保のためには、魅力的な労働環境を整備し、多様な人材を積極的に呼び込むことが不可欠であると考えます。 ・AI や IoT といった最新技術の積極的な導入はもちろんのこと、教員の外部研修参加や資格取得のための学習時間の確保も、質の高い教育を提供し続ける上で非常に重要だと考える。					

2 学校運営

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・学校運営は順調になされていると思う。 ・運営方針はトップダウン的要素が多いが、高等教育機関なので、“誰も拒まない議論”を重ねることで実効性のあるアイデアが生まれると思う。 ・学校運営に必要な人材の確保は喫緊の課題と言える。この課題に対応するためには、業務のマニュアル化を推進し、DX化による業務効率化を徹底することが不可欠である。これにより、教員が教育活動に専念できる環境を整備することが極めて重要だと考える。 ・教員採用はどこも大変。例えば、「JREC-IN Portal」などでの募集、地元広報誌や各種会報などは如何か。 <授業運営の視点として> ・急激に生徒数が増加したため、対応に戸惑いを覚えている講師もいる。 ・運営方針は適切に説明されているが、それを知っている・または理解している非常勤講師は少ないように思える。					

3 教育活動

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・教育の達成レベル設定は難しい課題である。学生の到達度レベルに合わせたクラス設定が理想であるが、実際は難しい。常にこの問題意識を持っていることが大切だと思う。 ・学生の多様化するニーズに応えるべく常勤講師数や非常勤講師数を増やし、様々な課題に向き合っており、シラバスも適正に公開されている。 ・教員の確保と育成は喫緊の課題であるが、これを解決するためには、魅力ある職場環境の整備が不可欠となる。具体的には、給与待遇の改善、教員の負担軽減のためのDX化推進、そして管理職へのキャリアアップ機会の拡充などが挙げられる。					

4 教育成果

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・ 専門課程就職率 100%は素晴らしい成果であると評価する。ただ、自己評価でも記述されている通り、卒業生が職場で活躍し高評価されることが最重要なので、卒業後の動向を把握することを進めてほしい。 ・ 専門課程の就職内定率 100%達成は素晴らしく、キャリア育成に関しても専門のコンサルタント＋サポーター合計 3 名で事に当たっており学生も安心感があると思われる。 ・ 就職内定率 100%は素晴らしい実績であり、高く評価されるべき。 一方で、卒業生の就職後の定着率については把握しているか。もし可能であれば、業界ごとの定着率なども数値化し、卒業生の長期的な動向を把握することが、今後の学校の教育方針を検討する上で非常に役立つと考えられる。					

5 学生支援

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・ 保健師の配置は評価できる。また、保健師直接予約システムは素晴らしい。 ・ 寮に管理人が常駐していることは学生の安心感につながり良いことだと思う。 ・ 昔と違い保護者との意思疎通も大事になっているので、留学生を含め、更に取り組んでいく必要があると思う。 ・ 学生からの様々な相談事に対してはきめ細やかな対応で素晴らしい。 一方、地元就職を希望する生徒に対しての企業紹介が少なく、今後の課題となることが予想される。 ・ 入学者の大幅な増加に伴い、留学生のアルバイト先開拓が喫緊の課題であると認識した。 上田商工会議所としても、多くの企業に留学生のアルバイト受け入れにご協力いただけるよう積極的に働きかけていく。					

6 教育環境

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	③	2	1
三木	⑤	4	3	2	1
森腰	5	4	③	2	1
山崎	5	④	3	2	1
コメント					
・教育設備と校舎の老朽化による様々な影響を懸念している。 ・教育環境の整備は重要なので、引き続き取り組みを進めてほしい。 ・施設の老朽化、圧倒的な生徒数に対する教室の割り当て等苦勞が絶えないと思うが、もう少し余裕をもった教室の割り当てやトイレ数の増加等に取り組んでほしい、また教室間の移動等課題が多いと思われるので対策を。 ・教育環境の充実には、物理的なインフラ整備と ICT 環境の整備が不可欠である。これらが着実に進むよう、財政的な計画も合わせて検討を進めていただきたい。 ・インターンシップの受入れ企業を集めて意見交換会（交流会）を実施し、学生を観た皆さんの生の声を吸い上げたら面白いのでは。					

7 学生の募集と受け入れ

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	⑤	4	3	2	1
三木	⑤	4	3	2	1
森腰	⑤	4	3	2	1
山崎	⑤	4	3	2	1
コメント					
・募集活動は HP でしか見ていないが、教育方針やカリキュラム・就職状況等適切に公開されており、日本語能力に応じた適切なクラス分けもできている。 ・学生数の増加は、募集・受け入れ戦略が奏功した明確な成果といえる。今後、安定して学生を確保していくには、優れた就職実績を維持することに加え、卒業生が各分野で活躍することが極めて重要である。これらの実績に裏打ちされた、より高い学術水準と質の高い教育の実現を目指していただきたい。 ・入学案内書 CROSS THE BORDER は、視覚的に素晴らしいと思う。さらに分かり易くするには、例えばコース毎に背景色を薄く色分けをするなどしては如何か。					

8 財務

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・会計監査等、HPにて適切に公開されている。 ・学生が集まってくるような学校の魅力づくりが財務上も大切だと思う。引き続き頑張っていたきたい。 ・財務面については概ね安定している。この安定した基盤を活かし、環境整備などのための積立金を着実に進め、学生の学習環境がさらに向上するようご尽力していただきたい。					

9 法令等の遵守

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・適正な運営・対策がなされていると評価する。 ・役職者をはじめ常勤講師、非常勤講師ともに遵法意識は高い。また、専門家（行政書士）を非常勤講師として招聘し常に最新の法律改正に敏感である。 ・生徒、教職員の個人情報厳格に管理されている。 ・自己点検・自己評価を定期的実施されていることは、大変良い取り組みである。 これに加え、教職員間で情報が活発に共有され、自由闊達に意見を言い合える職場環境の構築が、今後の組織運営において極めて重要であると考えます。					

10 社会貢献

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1

コメント
・各種公的団体や企業等との連携・交流会は定期的実施されている。今後、学校資源を活かした生涯学習や地域の人々向け講座等の開催などを行うことが課題となる。 ・当校の使命からして、一般や社会人向けの社会貢献が難しことは理解できる。しかしながら少数でもいいので、学生の主体的な取組みに対しては、何かしら支援したいものである。 ・地域との連携を重視し、行政、教育機関、商工団体との関係を深められている点は、高く評価できる。特に、企業団体との連携は、企業ニーズの把握や貴校の活動周知に大きく貢献するため、引き続き注力されるべき。上田商工会議所としましても、今後も連携を密にし、積極的に支援していく。

1.1 入学者の募集と選考

5.適切 4.ほぼ適切 3.どちらともいえない 2.やや不適切 1.不適切

委員名	評価				
水野	5	4	3	2	1
三木	5	4	3	2	1
森腰	5	4	3	2	1
山崎	5	4	3	2	1
コメント					
・適正な運営・対策がなされていると評価する。					

5. 外部委員による総評

外部委員の意見や提案も学校の改善実行案も実現性の高い内容にブラッシュアップされてきており運営について早急に改善に着手すべき点などもあると見受けられるが、評価できる点ばかり見せるのではなくマイナス面についてもしっかりと認識し内省する体制が整っていることは評価に値する。是非実行に移し改善を進めていってほしい。マニュアル化を進めるという点については、整備は改善が目的であることを念頭に置き、マニュアル作成が目的とならないよう留意していただきたい。よりよい教育環境の提供のため、立場や役職に捕われずに自由に意見交換できる体制を作り、全員で当事者意識を持ち改善に取り組んでいっていただきたい。

自己点検・評価結果は、概ね適正で妥当と評価できる。教育サービスはおおむね適正に提供されており、学校運営も適正であることが確認できた。各項目の評価については、全体的に高い数値であり、学校として良く取り組んでいる印象を受けた。今回見えてきた課題について、今後も対策をお願いしたい。

以上

2025 年 7 月 25 日

専門学校長野ビジネス外語カレッジ

学校関係者評価委員会